

# 花 橘

ドラマ「ボラ！デボラ」から学ぶ！

地域協働課長 河野 雄太

発行日

令和7年2月19日

第12号

発行・編集

三崎高校総務課

河野雄太、現在三十四歳。趣味はランニングと映画鑑賞。三崎高校での勤務も7年目を終えようとしており、日々、仕事に育児に充実した毎日を送らせていただいております。そんな僕が最近どハマりしているものがあります。それがアマ○ンプライムで韓国ドラマの「ボラ！デボラ」を観ることです！

以下、あらすじ。主人公のデボラは、恋愛コーチとして人気のインフルエンサーで、恋愛指南本のベストセラー作家。しかし、実生活では自身の恋愛がうまくいかず、長年付き合っていた恋人に突然フラれてしまいます。そんな中、恋愛に冷静な視点を持つ出版社の企画者イ・スヒョクと出会い、最悪の第一印象を与えてしまうものの、彼と仕事を通じて関わることに。正反対の恋愛観を持つ二人は、衝突しながらもお互いに影響を与え、次第に惹かれ合っていくます。

いやあ、これが本当に面白い。内容はよくある恋愛ドラマのプロットに沿っているのですが、役者たちの抜群の演技力でのキャラクターにも感情移入できてしまいます。また、韓国ドラマでは複数のジャンルをまたいで話が展開する場合が多く、「ボラ！デボラ」においても話の軸はラブコメですが、晩婚化やネットでの誹謗中傷などの社会問題を巧みに織り込んでいきます。こういった緻密な仕掛けがアラサーのおっさんにも「早く次が観たい！」という気持ちにさせるのだと思います。

さて、ここで言いたいことは、何も「韓国エンタメ最高！」ということではありません。（もちろん、「ボラ！デボラ」はオススメです☆）令和の時代になり、僕が学生の頃とは比べものにならないくらい若者とエンタメの距離は近くなりました。僕が高校生の時は少ないお小遣いを切り詰めて、好きなアーティストのCDを買ったり、話題の映画を見に行ったりしましたが、今ではサブスクの各種ストーリーミングサービスによって、全世界のエンタメを格安で楽しむことができます。

是非、皆さんにはこんな素晴らしい時代を上手に生きてほしいと思うわけです。勉強に、部活動に、探究に、三崎高校生は本当に忙しいです。だからこそ、日常に余裕を作り、世界中の素晴らしい映画やアニメ、音楽にスポーツ：たくさんエンタメを楽しんでほしいと思います。

十代は様々な外的な刺激に敏感な時期です。良質なエンタメに触れることは、皆さんの感受性や将来への希望、生きるモチベーションを高めると僕は信じています。そんな河野も中学時代に再放送で観たドラマ「GTO」の鬼塚に憧れて教員を目指し、高校時代に観た映画「Into the wild」の影響で英語や世界に興味を持ちました。

一分程度で切り抜かれた動画もいいですが、たまにはしっかりと腰を据えて映画やドラマを楽しんでみてはいかがでしょう。

## 未咲輝-SENTAN-発表会

1月24日（金）に未咲輝-SENTAN-発表会が行われました。今年度の総合的な探究の時間はそれぞれ自分のやりたいことについて調べ、その際につくもて班（商品開発・カフェ）、しらつた班（ツアー・PR）、えがまも班（アート・防災）のいずれかの班に所属活動を行いました。発表会は「五感で楽しむライフスタイルの探究」、「地域と健康をつなぐスポーツと活動」、「伊方町の魅力と歴史・自然、防災と人間」、「SDGsとアート・テクノロジー、地域の魅力PR」の4つの分科会に分かれ、活動報告をしました。各種成果発表では、今年度から本格始動した『未咲輝ゼミ』の中から、「地歴ゼミ」、「Café to 燈人（あかりびと）」、「エネルギー問題を考えよう！」の3ゼミの発表がありました。校外からも多くの方が参観され、大勢の人の前で発表するという事に緊張している生徒も多かったです。しかし、全員しっかりとやり遂げ、終了後は充実した表情でした。来年度も三崎高校は様々な探究活動を行っていきます。

